

蒸し暑いですねえ

そこでテーマは“水”

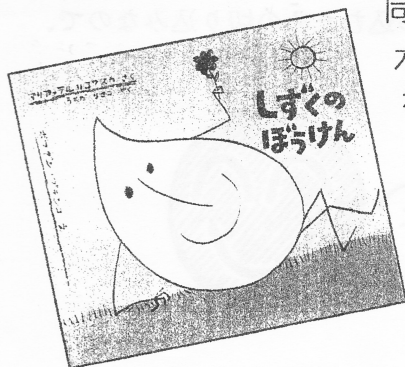


『みずたまのたび』 アンヌ クロザ (著), こだま しおり (翻訳) 西村書店 1995

ネコがみずをのんだボウルのそこに、ひとつぶのこったちいさなみずたま。お日さまに照らされて、空へ。

それから場所を変え形を変えて、みずたまは旅を続けます。

絵がスッキリ爽やかで、文もわかりやすい。



同じテーマのものに『しずくのぼうけん』 マリア・テルリコフスカ (著), ポフダン・ブテンコ (イラスト), うちだりさこ (訳) 福音館書店 1969 もう少し大きくなった子どもたちに。

『水がすきじゃなかったアヒル』

スティーブ・スモール (著),

青山 南 (訳) 化学同人 2021

いつもカップを着て、傘をさして歩くほど水の苦手なアヒル君。でもある日、迷子のカエルと出会い、「水がキライ」と言っていられなくなりました。どうして？



雨の日は、

こんな絵本の助けをかりて、

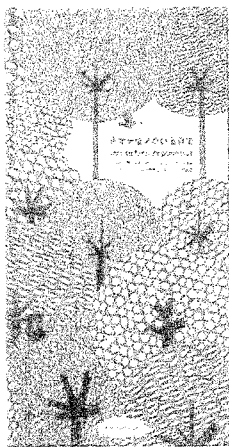
子どもと一緒に歌をうたうと

ジメットした梅雨も、少しはたのしくなるかもしれないなあ。

『あめふりくまのこ』

鶴見 正夫 (著), 高見 八重子 (イラスト) ひさかたチャイルド

2009



『ナマケモノのいる森で』

しかけ/アヌック・ボワロベール
ルイ・リゴー
文/ソフィー・ストラディ
訳/松田素子

KTC 中央出版/2012 第1 版発行



『森の絵本』

長田弘・作
荒井良二・絵
藤誠社/1999 第1 版発行



『ペツエツティーン』

レオ=レオニ
訳/谷川俊太郎
好学社/1975-78 3 冊成発行



『童話ケーキ』

桐島洋子・森山サチ子
英智研究社/S.55 初版発行

書店に立ち寄ると、しばしばしかけ絵本のコーナーを目にすることがあります。3、40 年前は「とびだす絵本」程度のものでしたが、最近のものは、本を開く動作だけで展開しているとは思えないほど精密なものが沢山。ひとめぐりで、なめらかに幾重にもしかけが繰り出されます。

『ナマケモノのいる森で』は装丁や絵のデザイン性とお話としかけのマッチングが楽しい本です。開くと画面一面にジャングルが立ち上がり、360 度見ることができます。しかけ絵本という形態のアート作品と言っていいかもしれません。お話を楽しんだ後はページの隙間をのぞいて、どうやって作るのかな〜? とかぐるぐる想像していつまでもワクワクできます。

『森の絵本』は幻想の森に誘ってくれる、VR (バーチャルリアリティ) ゴーグルのよう。前半、全面緑色だけで描かれた森の世界と繰り返し聞こえてくる声のリズムに、一瞬で森の中にいる感覚を味わえます。

筆書き彩色ならではの、やわらかなタッチと美しい色彩が心地よくて、そのまま眠りについて夢で続きをみたい気持ちになります。

『ペツエツティーン』が「スイミー」をかいた人と同じ作者だと気づいたのは大人になってからでした。スイミーのように具体的な小動物ではなく、ただ「小さなかけら」が主人公のこのお話。登場生物(?) の呼び方や表現技法も全て抽象化され、余計なものは一切描かれていません。レオ=レオニの作品によく使われる垂らしこみやマーブリングの紙をコラージュして、海や陸などの風景の質感や動きを実にうまく表現しています。

ペツエツティーンって、何??? タイトルの謎もすぐに吹き飛ばすインパクトと不思議な説得力に満ちた絵本です。

小学校に上がる頃になると自分でお菓子作りをしたくなるものではないでしょうか。

『童話ケーキ』は、メアリーポピンズやトムソーヤの冒険や、不思議の国のアリスなど名作童話の一節を紹介し、まつわるお菓子を作れる本です。ぶっくりおいしそうなコーンマフィンをみていると、ちょっとながいけどお話も読んでみたくなるのです。ただお菓子を作るより 2 倍楽しい、おなかも心も幸せに。わたしはいつもこの本のレシピを使っていて、つくりかたのページのイラストも面白くて影響を受けました。



クリスマス会に読みたい本



九条子と文庫
吉村 弘子

・大勢の子どもたちと楽しむクリスマス会での本選び。

つかみ(導入・子どもたちをひきつける)の本・きかせる本(“クリスマスって何?” “サンタクロースの秘密は?”)

他に、このごろは、子どもたちと掛け合いを楽しむ本もよく活用しています。

言葉にリズムがある、一緒に歌える、しかけがあるなどの本を選んでみました。

◎さんかくサンタ ~△~○~□~

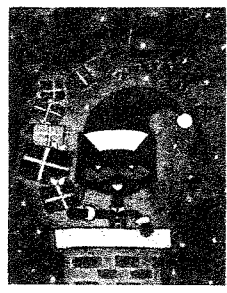


作・絵
tupera tupera
ツペラ・ツペラ
・絵本館

さんさんさんかく さんかくサンタ
まんまるふくろを せなかにしめて
しかくいおうちに はいていった。

丸・三角・四角のカラフルな絵と、
リズムが楽しい絵本。赤ちゃんも楽し
めるゆかいな一冊です。

◎ねこのピート クリスマスをとどけよう



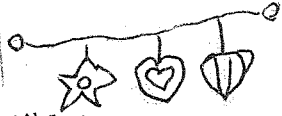
作 エリック リトウィン
絵 ジェニス ティーン
訳 大友 剛
文芸通 長谷川 義史
・ひさかたチャイルド

風邪をひいたサンタさんのかわりに
プレゼントを届けることになったネコのピート。
♪とどけよう ♪とどけよう♪ みんなのクリスマス♪
とどけよう~ ♪と繰り返して歌うと、
とっても楽しくなるから、不思議。

◎ばばあちゃん クリスマスカザリ

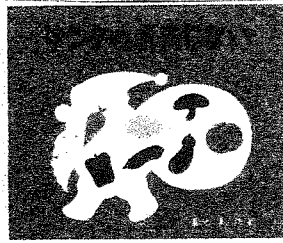


作
さとう わきん
・福音館



クリスマスの日、ばばあちゃんと、子ども
たちが一緒に、クリスマス飾りを作ったよ。
クリスマスツリーも オナメントも、身近な物
を使っていっぱい作ったよ。ばばあちゃん
最後にやれたかったことは……? 制作前の
導入にも使える楽しい工作絵本です。

◎サンタのおまじない



作・絵
菊地 清
・富山房

サンタが袋に入れて、持って来たのは、たまご
苦手な野菜たち。でもサンタのおまじない。
「いち・にい・サンタ〜!」で 野菜のピーマンか
もみの木に、トマトも切っていくと、赤い帽子、
赤い服!! 切り紙のじょうずな人なら、お
できるかな? ページをめくると楽しい本です。

「ろーさいのりぢぢは
はくかくさいえい」(山月記)のトラが来た!!

(わたほろし文庫 後藤由美子)

『ウエン王子とトラ』

チエン・ジャンホン 作・絵 采園敦訳

徳間書店 2007 ¥1900



紀元前十一世紀(今から約3000年前)中国の殷王朝時代に作られた青銅器をパリの美術館でながめていて思いついた話とのこと。(泉屋博古館にもある)

とても大型の絵本で
迫力のあるトラと 古代
中国らしい王朝の装束や 風景が素晴らしい。

『おちのじかんに
きたとら』
沿テニス・カー 作
晴海耕平 訳
童話屋出版 1994

おちのじかんに
してトラもやってきました!
すごい大食漢でも
ソファはすわり伸張し
ほんほんのなにおうちに
帰ってきた
お父さん
またステキ。



¥1500



『バンガル虎の少年は...』

斎藤洋・作 伊東寛・作
あかね書房 1988 ¥1200

少年虎は、バン
ガル虎のおきてに
従って、名前を
ふせられるべく
旅に出る。
斎藤洋の面白
ぶつちせりの
おもしろ成長物
話。



忘れていたけど
何と(ろーさいの)りぢぢが登場
して おもしろい。

『ジャクシミリさん と とら』
アニタ・ヒューエイト ぶん
ロバート・ブルームフィールド 文
しみお まさこ やく
ほるぷ出版 1976 ¥780

ふとちのジャクシミリさんは刀を
もって ひとくいのうのしんをとりに
アてきた。さて? 我が家の古い絵本。

ほかほか おふろ

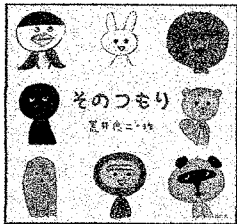
おはなしポケット (南丹市)

さむいときには うれしい ほかほかおふろ
そんな おふろの本を たのしみましょう



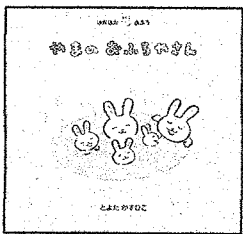
「もりのおふろ」 西村繁男 福音館書店

もりの中の 大きな おふろ。いろいろな どうぶつたちが やってきます。 さいごは みんなであつたまろ!



「そのつもり」 荒井良二 講談社

「そのつもり」では、なんでも そうなつた つもり。 どうぶつたちは 大きなあなを ほって おんせんをつくり、 あつたまつた「つもり」



「やまのおふろやさん」とよにかずひに ひさかたのケルド、 やまのおふろに、 さるやいのししが やってきます。 あれ? ゆきだるま一家が来たよ、 大丈夫かな? 前後のみがえしもよく見てね。

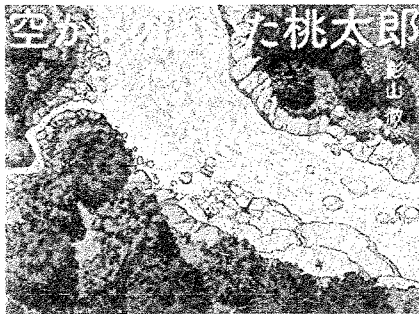


「にんじんとごぼうとだいこん」和歌山静子 鈴木出版
みんなが知ってるむかしお話し。 熱いのをがまんして はいたのはたにれ? とうとうおふろにはいらはかったのほ?

向日市 おはなしサークル

「はらぺこあおむし」がご紹介する

～ちよつとかわつた昔話絵本～

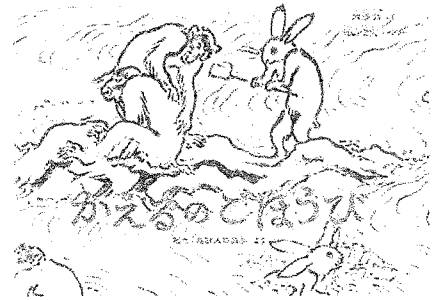


「空からのぞいた桃太郎」

作 影山 徹 岩崎書店

「誰もが知っている昔話を上から見たら
どんなふうに見える？」

上からのぞくとこんなに面白かった！！



「かえるのごほうび」

作 木島 始 レイアウト 梶山 俊夫

福音館書店

世界に誇る国宝 絵巻「鳥獣人物戯画」を
子どもたちが楽しめるようにお話として
構成された絵本です。

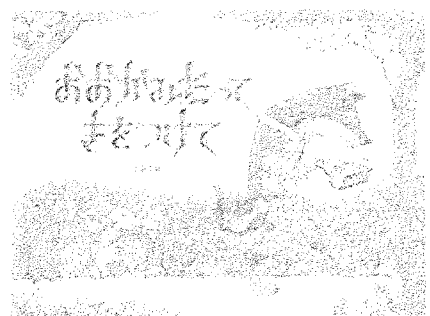


「三びきのコブタのほんとうの話」

作 ジョン・シェスカ 絵 レイン・スミス

訳 いくしま さちこ 岩波書店

みんなが知ってる「3びきのコブタ」
でも、オオカミの立場から見ると…



「おおかみだてきをつけて」

作 重森 千佳 フレーベル館

「赤ずきん」「7匹のこやぎ」「3匹のこぶた」
昔話を教訓に狩りを試みるおおかみくん。
おおかみくん きをつけて！！